

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 平成 30 年 4 月 10 日

東京都作業部会確認年月日 平成 30 年 4 月 11 日

(契約内容変更に伴う再確認年月日 平成 30 年 5 月 23 日)

(実施設計完了に伴う確認年月日 令和 2 年 2 月 6 日)

(契約変更に伴う再確認日 令和 2 年 7 月 8 日)

(契約変更に伴う再確認日 令和 2 年 11 月 27 日)

事業名 共同実施事業（仮設等、テクノロジー、輸送、オペレーション）

案件名 仮設オーバーレイ整備業務（その1）（有明アリーナ、有明体操競技場、有明テニスの森）

確認の視点	東京都の見解（案）	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経費負担の基本的な考え方は、平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであることが説明により確認できた。</li> <li>● 本件は大枠の合意に基づき、組織委員会、都、国の負担額を積算しているが、現状の発注額は基本設計完了時のものであり、設計・工事の進捗に応じて修正することが必要である。 (令和 2 年 7 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>● なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。 (令和 2 年 1 1 月 2 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>● <b>なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。</b></li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 契約における整備は全てオーバーレイ、仮設等のインフラ整備にあたることから、平成 29 年 5 月 31 日の合意に従い、組織委員会が執行する内容として妥当である。</li> <li>● 組織委員会が会場整備や大会運営を担うことになっており、この方針により準備を進めている。</li> <li>● 仮設オーバーレイに関しては、平成 29 年度に基本設計を実施しており、本件は引き続き実施設計および工事を行うものであり継続性が必要となる。</li> <li>● また、組織委員会は IOC や IF 等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに会場整備を行うために一括して執行することが効率的、効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観客席、テント、フェンスなど大会運営に用いる仮設施設の整備であり、不可欠な事業である。</li> <li>● 大規模かつ特殊なイベントであり、借上施設やその備品類では、量的にも質的にも不十分で、本事業により補う必要がある。</li> <li>● 本件は大会運営に必要な内容であることを確認している。 (令和 2 年 7 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>● なお、今回の契約変更は、工事一時中止に向けた安全対策実施のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。 (令和 2 年 1 1 月 2 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>● <b>なお、今回の契約変更は、仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</b></li> </ul>	必要性

	効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設施設の規模、仕様、配置は、過去大会の事例を参考に、関係各部門の意見等を調整、反映して設定したとの説明を受けた。</li> <li>● 発注図書において、次の数量の整合を確認した。       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 競技会場に必要なセキュリティにかかるフェンス・バリア、ユニットハウス、テント、観客のためのスタンド・客席、暑さ対策が計上されている。</li> <li>② 維持管理費、撤去費、建設副産物処理費、諸経費が計上されている。</li> <li>③ 有明アリーナでは、上記①②の他に空調設備や電灯・コンセント設備といった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> <li>④ 有明体操競技場では、上記①②の他に防火区画対応が必要なプレハブによる売店やトイレといった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> <li>⑤ 有明テニスの森では、上記①②の他にコート表層改修、車いす対応段差解消機など大会運営に必要な項目が計上されている。</li> </ol> </li> <li>● 予定価格の積算に用いる単価は、都単価や刊行物掲載の市場価格を用いるほか、独自に国内外の仮設業者から聴取した情報に基づき単価を設定している。なお、単価は過去大会の知見を有し、市場価格に精通したコンサルタントの査定を受け、設定していることを確認した。</li> <li>● 内訳書、見積比較表などで主な項目の単価設定根拠を確認するとともに、組織委員会へのヒアリングにより、単価設定の方針（採用単価の優先順位など）に従って積算していることを確認した。</li> <li>● 内訳書ではリースと買取りの分けが明記されていない項目については組織委員会へのヒアリングにより確認した。また、リース材の単価が組織委員会の単価設定の方針に従って設定されていることを確認した。</li> <li>● 工程については、要求水準書で工期及びオーバーレイ整備工程に記載があることを確認した。</li> <li>● 調達する資機材等については、要求水準書において「持続可能性に配慮した調達コードを遵守する」こととするとともに、可能な限りリースまたはレンタル品を使用していることを確認した。</li> <li>● 仮設資材については、特注品を極力減らし、できる限り汎用品を用いている。また、調達に当たり、レンタル・リースを原則とし、買取りを最小限とすることで資材発生を抑制している。</li> <li>● やむなく特注や買取りとせざるを得なかった仮設施設については、大会後に有効活用を図るべく、既に一部の施設管理者と調整を始めていることを確認した。引き続き、こうした取組を始め、3Rを推進していただきたい。 (平成30年5月23日追記)なお、有明アリーナの観客席については、大会後の有効活用を図ることが重要であり、今後、V2予算の範囲内に収まるよう、仕様や調達方法等の詳細について都と組織委員会で調整していくことが必要である。</li> <li>● アクセシビリティについては、要求水準書において、オーバーレイ整備のアクセシビリティに関する基本的な考え方を「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」によることを確認した。</li> <li>● 事業内容のさらなる最適化を図るため、CVE、SVSD等により、規模、仕様、工法など設計内容全般にわたる見直し及びコストの縮減を並行して行ってきた。</li> </ul>	
--	-------------	---	--

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮施設整備費について都単価や刊行物がないものについては、関心度調査を実施し、国内外のサプライヤーから供給可能量や費用情報を入手し、単価を設定している。</li> <li>● CVE、SVSD 等によりコスト縮減を図るとともに、受注者からも契約時 VE 提案を募る予定など、一貫してコスト縮減に取り組んでいる。</li> <li>● 上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により包括的に確認し、納得性があると判断した。</li> <li>● なお、調達については、国内外の建設会社、イベント業者、サプライヤーを発注対象にするなど、競争性が増す工夫を凝らしている。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 積算や整備内容の妥当性等を図る目的で、上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により公費負担の対象として適切であることを包括的に確認した。</li> <li>● 現状の基本設計での設計内容に基づく本案件については、概ね妥当と判断した。併せて、発注総額が V2 予算内に収まっていることを確認した。一方で、会場別都負担額は提示されているが内訳が提示されていないため、都における確認は、都負担額内訳をチェックすることが前提である。 ⇒ (平成 30 年 4 月 13 日追記) 部会開催後に提供された資料により、都負担額の内訳をチェックし、都における確認を完了した。今後、設計・工事の進捗に応じた修正に合わせ、組織委員会と都の経費分担についても、引き続き調整をお願いしたい。</li> <li>● 今後、実施設計に向けて、仕様や数量の精緻化を図り、CVE や SVSD 等の手法を用い更なるコスト縮減に努めて頂きたい。実施設計完了後は、工事着手前の段階で、本作業部会において再度設計内容及び金額の確認を行わせて頂きたい。 (令和 2 年 2 月 5 日 実施設計完了に伴う追記) 予算内であることを確認しているが、令和元年度末に、大会経費の都の枠内であることを改めて確認する。 設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、実施設計完了に伴う契約変更(覚書締結)前までに、技術的な検討内容等の補足説明をお願いしたい。 なお、費用分担については、工事の実績に基づき、各経費区分および公費負担額などについて確定するものとする。 (令和 2 年 2 月 26 日 追記) 組織委員会からの補足説明により、技術的な検討内容等を確認した。 (令和 2 年 3 月 30 日 追記) V4 予算内であることを確認した。 (令和 2 年 7 月 6 日 契約変更に伴う追記) 延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。 (令和 2 年 11 月 26 日 契約変更に伴う追記) 延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限</li> </ul>	

	りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。	
--	--	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 平成 30 年 4 月 10 日

東京都作業部会確認年月日 平成 30 年 4 月 11 日

(実施設計完了に伴う確認年月日 令和 2 年 7 月 22 日)

(契約変更に伴う再確認日 令和 2 年 11 月 27 日)

事業名 共同実施事業（仮設等、輸送、オペレーション）

案件名 仮設オーバーレイ整備業務（その3）（アーチェリー会場）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考えに基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経費負担の基本的な考え方は、平成 29 年 5 月 31 日の合意の考えに基づくものであることが説明により確認できた。</li> <li>● 本件は大枠の合意に基づき、組織委員会、都、国の負担額を積算しているが、現状の発注額は基本設計完了時のものであり、設計・工事の進捗に応じて修正することが必要である。</li> </ul> <p>(令和 2 年 1 1 月 2 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 契約における整備は全てオーバーレイ、仮設等のインフラ整備にあたることから、平成 29 年 5 月 31 日の合意に従い、組織委員会が執行する内容として妥当である。</li> <li>● 組織委員会が会場整備や大会運営を担うことになっており、この方針により準備を進めている。</li> <li>● 仮設オーバーレイに関しては、平成 29 年度に基本設計を実施しており、本件は引き続き実施設計および工事を行うものであり継続性が必要となる。</li> <li>● また、組織委員会は IOC や IF 等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに会場整備を行うために一括して執行することが効率的、効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観客席、テント、フェンスなど大会運営に用いる仮設施設の整備であり、不可欠な事業である。</li> <li>● 大規模かつ特殊なイベントであり、借上施設やその備品類では、量的にも質的にも不十分で、本事業により補う必要がある。</li> <li>● 本件は大会運営に必要な内容であることを確認している。</li> </ul> <p>(令和 2 年 1 1 月 2 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なお、今回の契約変更は、仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</li> </ul>	必要性

<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設施設の規模、仕様、配置は、過去大会の事例を参考に、関係各部門の意見等を調整、反映して設定したとの説明を受けた。</li> <li>● 発注図書において、次の数量の整合を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 競技会場に必要なセキュリティにかかるフェンス・バリア、ユニットハウス、テント、観客のためのスタンド・客席、暑さ対策が計上されている。</li> <li>② 維持管理費、撤去費、建設副産物処理費、諸経費が計上されている。</li> <li>③ アーチェリー会場では、上記①②の他に人工芝、復旧工事、コンクリート平板復旧、BumB 内装変更（自立式パーテーション）といった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> </ul> </li> <li>● 予定価格の積算に用いる単価は、都単価や刊行物掲載の市場価格を用いるほか、独自に国内外の仮設業者から聴取した情報に基づき単価を設定している。なお、単価は過去大会の知見を有し、市場価格に精通したコンサルタントの査定を受け、設定していることを確認した。</li> <li>● 内訳書、見積比較表などで主な項目の単価設定根拠を確認するとともに、組織委員会へのヒアリングにより、単価設定の方針（採用単価の優先順位など）に従って積算していることを確認した。</li> <li>● 内訳書ではリースと買取りの分けが明記されていない項目については組織委員会へのヒアリングにより確認した。また、リース材の単価が組織委員会の単価設定の方針に従って設定されていることを確認した。</li> <li>● 工程については、要求水準書で工期及びオーバーレイ整備工程に記載があることを確認した。</li> <li>● 調達する資機材等については、要求水準書において「持続可能性に配慮した調達コードを遵守する」こととするとともに、可能な限りリースまたはレンタル品を使用していることを確認した。</li> <li>● 仮設資材については、特注品を極力減らし、できる限り汎用品を用いている。また、調達に当たり、レンタル・リースを原則とし、買取りを最小限とすることで資材発生を抑制している。</li> <li>● やむなく特注や買取りとせざるを得なかった仮設施設については、大会後に有効活用を図るべく、既に一部の施設管理者と調整を始めていることを確認した。引き続き、こうした取組を始め、3Rを推進していただきたい。</li> <li>● アクセシビリティについては、要求水準書において、オーバーレイ整備のアクセシビリティに関する基本的な考え方を「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」によることを確認した。</li> <li>● 事業内容のさらなる最適化を図るため、CVE、SVSD等により、規模、仕様、工法など設計内容全般にわたる見直し及びコストの縮減を並行して行ってきた。</li> </ul>	
<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設施設整備費について都単価や刊行物がないものについては、関心度調査を実施し、国内外のサプライヤーから供給可能量や費用情報を入手し、単価を設定している。</li> <li>● CVE、SVSD等によりコスト縮減を図るとともに、受注者からも契約時 VE 提案を募る予定など、一貫してコスト縮減に取り組んでいる。</li> <li>● 上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により包括的に確認し、納得性があると判断した。</li> <li>● なお、調達については、国内外の建設会社、イベント業者、サプライヤーを発注対象にするなど、競争性が増す工夫を凝らしている。</li> </ul>	

<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 積算や整備内容の妥当性等を図る目的で、上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により公費負担の対象として適切であることを包括的に確認した。</li> <li>● 現状の基本設計での設計内容に基づく本案件については、概ね妥当と判断した。併せて、発注総額がV2予算内に収まっていることを確認した。一方で、会場別都負担額は提示されているが内訳が提示されていないため、都における確認は、都負担額内訳をチェックすることが前提である。 ⇒（平成30年4月13日追記）部会開催後に提供された資料により、都負担額の内訳をチェックし、都における確認を完了した。今後、設計・工事の進捗に応じた修正に合わせ、組織委員会と都の経費分担についても、引き続き調整をお願いしたい。</li> <li>● 今後、実施設計に向けて、仕様や数量の精緻化を図り、CVE やSVSD等の手法を用い更なるコスト縮減に努めて頂きたい。実施設計完了後は、工事着手前の段階で、本作業部会において再度設計内容及び金額の確認を行わせて頂きたい。 （令和2年7月22日 実施設計完了に伴う追記） V4予算内であることを確認した。 設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、実施設計完了に伴う契約変更（覚書締結）前までに、技術的な検討内容等の補足説明をお願いしたい。 なお、費用分担については、工事の実績に基づき、各経費区分および公費負担額などについて確定するものとする。 （令和2年9月24日 追記） 組織委員会からの補足説明により、技術的な検討内容等を確認した。 （令和2年11月26日 契約変更に伴う追記） 延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</li> </ul>	
---------------------------------------	---	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 令和元年7月9日

東京都作業部会確認年月日 令和元年7月10日

(契約変更に伴う再確認日 令和2年11月27日)

事業名 共同実施事業（仮設等）

案件名 有明アーバンスポーツパーク スケートボード FOP 整備工事

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	本工事は、仮設等のインフラ整備であり、都が経費を負担する理由がある。また、負担額については平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものである。 <b>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</b> なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	経費分担にかかわらず、仮設オーバーレイ整備については、組織委員会が担うこととなっており、本工事は、仮設オーバーレイ整備であるため、組織委員会が一括して執行することが効率的かつ効果的である。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<p>必要性</p> <p>本工事は、スケートボード（パーク・ストリート）競技を実施する上で必要なフィールドの整備を行うものである。整備の内容や機能は、IF要件を満足する必要最小限のものである。 <b>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</b> なお、今回の契約変更は、仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</p> <p>効率性</p> <p>工事費は、都の工事積算標準に準じて、複数社見積りを徴収するとともに、市場価格に精通したコンサルタントの査定を受け、算出されており妥当である。</p> <p>納得性</p> <p>発注図書は、関係 FA 及び IF 等との協議結果に基づき、作成したものであり、IF要件を満足する必要最小限のものである。また、積算についても、都の基準、単価に準じて算出されており妥当である。</p>	

<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<p>本工事は、仮設オーバーレイ整備であるため、公費を負担する対象として、適切なものである。発注総額がV3予算内に収まっていることを確認した。なお、大会後の活用については、引き続き調整が必要である。</p> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記) 延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p>	
---------------------------------------	--	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 平成30年7月19日

東京都作業部会確認年月日 平成30年7月25日

(実施設計完了に伴う確認年月日 令和2年2月6日)

(契約変更に伴う再確認日 令和2年11月27日)事業名 共同実施事業（仮設等、**輸送**、オペレーション）

案件名 仮設オーバーレイ整備業務（その22）（青海アーバンスポーツ会場）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経費負担の基本的な考え方は、平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであることが説明により確認できた。</li> <li>● 本件は大枠の合意に基づき、組織委員会、都、国の負担額を積算しているが、現状の発注額は基本設計完了時のものであり、設計・工事の進捗に応じて修正することが必要である。 (令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</li> <li>● なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 契約における整備は全てオーバーレイ、仮設等のインフラ整備にあたることから、平成29年5月31日の合意に従い、組織委員会が執行する内容として妥当である。</li> <li>● 組織委員会が会場整備や大会運営を担うことになっており、この方針により準備を進めている。</li> <li>● 仮設オーバーレイに関しては、平成29年度に基本設計を実施しており、本件は引き続き実施設計および工事を行うものであり継続性が必要となる。</li> <li>● また、組織委員会はIOCやIF等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに会場整備を行うために一括して執行することが効率的、効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観客席など大会運営に用いる仮設施設の整備であり、不可欠な事業である。</li> <li>● 大規模かつ特殊なイベントであり、借上施設やその設備類では、量的にも質的にも不十分で、本事業により補う必要がある。</li> <li>● 本件は大会運営に必要な内容であることを確認している。 (令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</li> <li>● なお、今回の契約変更は、仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</li> </ul>	必要性

	効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設施設の規模、仕様、配置は、過去大会の事例を参考に、関係各部門の意見等を調整、反映して設定したとの説明を受けた。</li> <li>● 発注図書において、次の数量の整合を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 競技会場に必要な観客のためのスタンド・客席や、ユニットハウスが計上されている。</li> <li>② 維持管理費、撤去費、建設副産物処理費、諸経費が計上されている。</li> <li>③ 青海アーバンスポーツ会場では、上記①②の他に放送・競技用照明、キャビンや仮設トイレ、コンテイメントといった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> </ul> </li> <li>● 予定価格の積算に用いる単価は、都単価や刊行物掲載の市場価格を用いるほか、独自に国内外の仮設業者から聴取した情報に基づき単価を設定している。なお、単価は過去大会の知見を有し、市場価格に精通したコンサルタントの査定を受け、設定していることを確認した。</li> <li>● 内訳書、見積比較表などで主な項目の単価設定根拠を確認するとともに、組織委員会へのヒアリングにより、単価設定の方針（採用単価の優先順位など）に従って積算していることを確認した。</li> <li>● 内訳書ではリースと買取りの分けが明記されていない項目については組織委員会へのヒアリングにより確認した。また、リース材の単価が組織委員会の単価設定の方針に従って設定されていることを確認した。</li> <li>● 工程については、要求水準書で工期及びオーバーレイ整備工程に記載があることを確認した。</li> <li>● 調達する資機材等については、要求水準書において「持続可能性に配慮した調達コードを遵守する」こととするとともに、可能な限りリースまたはレンタル品を使用していることを確認した。</li> <li>● 仮設資材については、特注品を極力減らし、できる限り汎用品を用いている。また、調達に当たり、レンタル・リースを原則とし、買取りを最小限とするよう努められたい。</li> <li>● やむなく特注や買取りとせざるを得なかった仮設施設については、大会後に有効活用を図るべく、引き続き3Rの取組を推進していただきたい。</li> <li>● アクセシビリティについては、要求水準書において、オーバーレイ整備のアクセシビリティに関する基本的な考え方を「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」によることを確認した。</li> <li>● 事業内容のさらなる最適化を図るため、CVE、SVSD等により、規模、仕様、工法など設計内容全般にわたる見直し及びコストの縮減を並行して行ってきた。</li> </ul>	
	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設施設整備費について都単価や刊行物がないものについては、関心度調査を実施し、国内外のサプライヤーから供給可能量や費用情報を入手し、単価を設定している。</li> <li>● CVE、SVSD等によりコスト縮減を図るとともに、受注者からも契約時VE提案を募る予定など、一貫してコスト縮減に取り組んでいる。</li> <li>● 上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により包括的に確認し、納得性があると判断した。</li> <li>● なお、調達については、国内外の建設会社、イベント業者、サプライヤーを発注対象にするなど、競争性が増す工夫をしている。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 積算や整備内容の妥当性等を図る目的で、上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により公費負担の対象として適切であることを包括的に確認した。</li> <li>● 現状の基本設計での設計内容に基づく本案件については、概ね</li> </ul>	

	<p>妥当と判断した。併せて、発注総額が V2 予算内に収まっていることを確認した。</p> <p>● 今後、実施設計に向けて、仕様や数量の精緻化を図り、CVE や SVSD 等の手法を用い更なるコスト縮減に努めて頂きたい。実施設計完了後は、工事着手前の段階で、本作業部会において再度設計内容及び金額の確認を行わせて頂きたい。</p> <p>(令和 2 年 2 月 5 日 実施設計完了に伴う追記)</p> <p>予算内であることを確認しているが、令和元年度末に、大会経費の都の枠内であることを改めて確認する。</p> <p>設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、実施設計完了に伴う契約変更（覚書締結）前までに、技術的な検討内容等の補足説明をお願いしたい。</p> <p>なお、費用分担については、工事の実績に基づき、各経費区分および公費負担額などについて確定するものとする。</p> <p>(令和 2 年 3 月 4 日 追記)</p> <p>組織委員会からの補足説明により、技術的な検討内容等を確認した。</p> <p>(令和 2 年 3 月 30 日 追記)</p> <p>V4 予算内であることを確認した。</p> <p>(令和 2 年 11 月 26 日 契約変更に伴う追記)</p> <p>延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p>	
--	--	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 平成30年7月19日

東京都作業部会確認年月日 平成30年7月25日

(実施設計完了に伴う確認年月日 令和2年3月19日)

(契約変更に伴う再確認日 令和2年11月27日)

事業名 共同実施事業（仮設等、テクノロジー）

案件名 仮設オーバーレイ整備業務（その21）（武蔵野の森総合スポーツプラザ、東京スタジアム、武蔵野の森公園）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経費負担の基本的な考え方は、平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであることが説明により確認できた。</li> <li>● 本件は大枠の合意に基づき、組織委員会、都、国の負担額を積算しているが、現状の発注額は基本設計完了時のものであり、設計・工事の進捗に応じて修正することが必要である。</li> </ul> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 契約における整備は全てオーバーレイ、仮設等のインフラ整備にあたることから、平成29年5月31日の合意に従い、組織委員会が執行する内容として妥当である。</li> <li>● 組織委員会が会場整備や大会運営を担うことになっており、この方針により準備を進めている。</li> <li>● 仮設オーバーレイに関しては、平成29年度に基本設計を実施しており、本件は引き続き実施設計および工事を行うものであり継続性が必要となる。</li> <li>● また、組織委員会はIOCやIF等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに会場整備を行うために一括して執行することが効率的、効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<p style="text-align: center;">必 要 性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観客席、テント、フェンスなど大会運営に用いる仮設施設の整備であり、不可欠な事業である。</li> <li>● 大規模かつ特殊なイベントであり、借上施設やその設備類では、量的にも質的にも不十分で、本事業により補う必要がある。</li> <li>● 本件は大会運営に必要な内容であることを確認している。</li> </ul> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● なお、今回の契約変更は、仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</li> </ul>	

	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮施設の規模、仕様、配置は、過去大会の事例を参考に、関係各部門の意見等を調整、反映して設定したとの説明を受けた。</li> <li>● 発注図書において、次の数量の整合を確認した。       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 競技会場に必要なセキュリティにかかるフェンス・バリアや、ユニットハウス、テントが計上されている。</li> <li>② 維持管理費、撤去費、建設副産物処理費、諸経費が計上されている。</li> <li>③ 武蔵野の森総合スポーツプラザでは、上記①②の他に暑さ対策、競技・放送用照明、仮設観客席、空調工事といった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> <li>④ 東京スタジアムでは、上記①②の他に暑さ対策、競技・放送用照明、空調工事といった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> <li>⑤ 武蔵野の森公園では、上記①②の他に既存トイレの撤去、セキュリティ関連諸室、ガントリーといった大会運営に必要な項目が計上されている。</li> </ol> </li> <li>● 予定価格の積算に用いる単価は、都単価や刊行物掲載の市場価格を用いるほか、独自に国内外の仮設業者から聴取した情報に基づき単価を設定している。なお、単価は過去大会の知見を有し、市場価格に精通したコンサルタントの査定を受け、設定していることを確認した。</li> <li>● 内訳書、見積比較表などで主な項目の単価設定根拠を確認するとともに、組織委員会へのヒアリングにより、単価設定の方針（採用単価の優先順位など）に従って積算していることを確認した。</li> <li>● 内訳書ではリースと買取りの分けが明記されていない項目については組織委員会へのヒアリングにより確認した。また、リース材の単価が組織委員会の単価設定の方針に従って設定されていることを確認した。</li> <li>● 工程については、要求水準書で工期及びオーバーレイ整備工程に記載があることを確認した。</li> <li>● 調達する資機材等については、要求水準書において「持続可能性に配慮した調達コードを遵守する」こととするとともに、可能な限りリースまたはレンタル品を使用していることを確認した。</li> <li>● 仮設資材については、特注品を極力減らし、できる限り汎用品を用いている。また、調達に当たり、レンタル・リースを原則とし、買取りを最小限とするよう努められたい。</li> <li>● やむなく特注や買取りとせざるを得なかった仮施設については、大会後に有効活用を図るべく、引き続き3Rの取組を推進していただきたい。</li> <li>● アクセシビリティについては、要求水準書において、オーバーレイ整備のアクセシビリティに関する基本的な考え方を「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」によることを確認した。</li> <li>● 事業内容のさらなる最適化を図るため、CVE、SVSD等により、規模、仕様、工法など設計内容全般にわたる見直し及びコストの削減を並行して行ってきた。</li> <li>● また、武蔵野の森総合スポーツプラザについて、次の金額に関わる5点に関して、妥当性の確認のため、契約までに説明をお願いしたい。       <ol style="list-style-type: none"> <li>① ドーピング室周りの給排水設備の考え方 ⇒（平成30年9月10日）ドーピング室周りの給排水設備については、今後、実施設計を進めていく中で適切な機器選定を行うことを確認した。</li> <li>② 西競技場内の天然芝フィールドの養生・復旧の考え方 ⇒（平成30年9月10日）西競技場内の天然芝フィールドの養生・復旧については、仕様を含めて実施設計において詳細検討を行うことを確認した。</li> <li>③ 埋設管設置の考え方 ⇒（平成30年9月10日）埋設配管の設置については、施設への影響がないように今後実施設計にて検討していくことを確認した。</li> </ol> </li> </ul>	
--	-----	---	--

	効率性	<p>④ 西競技場のケーブルブリッジの配置の考え方 ⇒(平成30年9月10日)西競技場のケーブルブリッジの配置について、今後実施設計にて検討していくことを確認した。</p> <p>⑤ 仮設空調の冷媒及びドレン管の設置位置の考え方 ⇒(平成30年9月10日)仮設空調の冷媒及びドレン管の設置位置については、今後、実施設計において、適切な数量を検討していくことを確認した。</p> <p>● 東京スタジアムについて、次の金額に関わる5点に関して、妥当性の確認のため、契約までに説明をお願いしたい。</p> <p>① プール設置に伴う養生・復旧の考え方 ⇒(平成30年9月10日)プール設置に伴う養生・復旧については、荷重分散のための適切な養生を実施することを確認した。</p> <p>② アミノバイタルフィールドの人工芝の養生・復旧の考え方 ⇒(平成30年9月10日)アミノバイタルフィールドの人工芝の養生・復旧については、適切な養生を行うことを確認した。</p> <p>③ 投てき練習場の照明柱の電源の考え方 ⇒(平成30年9月10日)投擲練習場の照明柱の電源については、発電機にて不足電力を補うことを確認した。</p> <p>④ 排水ポンプの設置の考え方 ⇒(平成30年9月10日)排水ポンプ設置の基準について確認した。</p> <p>⑤ 近代五種用プールのろ過・水温調整・塩素注入システムの考え方 ⇒(平成30年9月10日)近代五種用プールのろ過・水温調整・塩素注入システムについては、関係行政機関と協議中であることを確認した。</p>	
	納得性	<p>● 仮施設整備費について都単価や刊行物がないものについては、関心度調査を実施し、国内外のサプライヤーから供給可能量や費用情報を入手し、単価を設定している。</p> <p>● CVE、SVSD等によりコスト縮減を図るとともに、受注者からも契約時VE提案を募る予定など、一貫してコスト縮減に取り組んでいる。</p> <p>● 上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により包括的に確認し、納得性があると判断した。</p> <p>● なお、調達については、国内外の建設会社、イベント業者、サプライヤーを発注対象にするなど、競争性が増す工夫をしている。</p>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<p>● 積算や整備内容の妥当性等を図る目的で、上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、要求水準書、内訳書により公費負担の対象として適切であることを包括的に確認した。</p> <p>● 現状の基本設計での設計内容に基づく本案件については、概ね妥当と判断した。併せて、発注総額がV2予算内に収まっていることを確認した。</p> <p>● 今後、実施設計に向けて、仕様や数量の精緻化を図り、CVEやSVSD等の手法を用い更なるコスト縮減に努めて頂きたい。実施設計完了後は、工事着手前の段階で、本作業部会において再度設計内容及び金額の確認を行わせて頂きたい。 (令和2年3月18日 実施設計完了に伴う追記) 予算内であることを確認しているが、令和元年度末に、大会経</p>	

	<p>費の都の枠内であることを改めて確認する。</p> <p>設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、実施設計完了に伴う契約変更（覚書締結）前までに、技術的な検討内容等の補足説明をお願いしたい。</p> <p>なお、費用分担については、工事の実績に基づき、各経費区分および公費負担額などについて確定するものとする。</p> <p>(令和2年3月25日 追記)</p> <p>組織委員会からの補足説明により、技術的な検討内容等を確認した。</p> <p>(令和2年3月30日 追記)</p> <p>V4 予算内であることを確認した。</p> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <p>延期に伴う追加経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</p>	
--	---	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 平成30年10月11日

東京都作業部会確認年月日 平成30年10月18日

(契約変更に伴う再確認日 令和2年11月27日)

事業名 共同実施事業（仮設等、テクノロジー）

案件名 伊豆自転車競技会場整備工事1（伊豆ベロドローム他）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<p>本工事は、パラリンピックでも利用される民間の所有施設における仮設オーバーレイ整備工事であり、パラリンピック経費の一部を都が負担する理由がある。また、負担額については平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものである。</p> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <p>なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。</p>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約における整備は全てオーバーレイ、仮設等のインフラ整備にあたることから、平成29年5月31日の合意に従い、組織委員会が執行する内容として妥当である。</li> <li>・組織委員会が会場整備や大会運営を担うことになっており、この方針により準備を進めている。</li> <li>・仮設施設・オーバーレイ整備は、実施設計を完了し、引き続き工事を行うものであり、継続性が必要となる。</li> <li>・また、組織委員会はIOCやIF等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに会場整備を行うために一括して執行することが効率的、効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<p style="text-align: center;">必 要 性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席、競技場内の照明など、大会運営に用いる仮設施設の整備であり、不可欠な事業である。</li> <li>・観客席は、仮設約1,800席を整備し3,600席分となっており、関係団体と調整のうえ席数について了解を得ていることを確認している。</li> <li>・大規模かつ特殊なイベントであり、借上施設やその備品類では、量的にも質的にも不十分で、本事業により補う必要がある。</li> <li>・本件は大会運営に必要な内容であることを確認している。</li> </ul> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、今回の契約変更は、工事一時中止に向けた安全対策実施及び仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</li> </ul>	

	<p>効 率 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮施設の規模、仕様、配置は、過去大会の事例を参考に、関係各部門の意見等を調整、反映して設定したとの説明を受けた。</li> <li>・発注図書において、次の数量の整合を確認した。</li> <li>① 競技会場に必要な観客や競技のための座席増席工事、照明・空調設備工事等の大会運営に必要な項目が計上されている。</li> <li>② 必要な撤去費、建設副産物処理費、諸経費が計上されている。</li> <li>・積算にあたっては、原則として東京都の積算基準等により、建設資材定期刊行物及び見積りによる単価に基づき積算されていることを確認した。</li> <li>・また、見積りによる単価については複数者の見積りを徴収し、比較検討の上、適切な単価を採用していることが確認できた。</li> <li>・内訳書ではリースと買取りの分けが明記されていない項目については組織委員会へのヒアリングにより確認した。</li> <li>・工程については、提示されたオーバーレイ整備工程を確認した。</li> <li>・調達する資機材等については、要求水準において「持続可能性に配慮した調達コードを遵守する」こととするとともに、可能な限りリースまたはレンタル品を使用していることを確認した。</li> <li>・買取りとなる製品は、大会後の後利用について今後協議をしていくことを確認した。引き続き、こうした取組をはじめ、3Rを推進していただきたい。</li> <li>・アクセシビリティについては、オーバーレイ整備のアクセシビリティに関する基本的な考え方を「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」によることを確認した。</li> </ul>	
	<p>納 得 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算にあたっては、原則として東京都の積算基準等により、建設資材定期刊行物及び見積りによる単価に基づき積算されている。</li> <li>・また、見積りによる単価については複数者の見積りを徴収し、比較検討の上、適切な単価を採用していることが確認できた。</li> <li>・上記のほか、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、内訳書により包括的に確認した。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算や整備内容の妥当性等を図る目的で、上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、内訳書により適切であることを包括的に確認した。</li> <li>・パラ開催経費を構成するパラ競技会場の施設整備であり、公費負担の対象として適切であることを確認した。</li> <li>・現状の実施設計での設計内容に基づく本案件については、概ね妥当と判断した。併せて、発注総額が V2 予算内に収まっていることを確認した。</li> <li>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

＜個別案件確認表（東京都）＞

東京都担当確認年月日 平成30年10月11日

東京都作業部会確認年月日 平成30年10月18日

(契約変更に伴う再確認日 令和2年11月27日)

事業名 共同実施事業（仮設等、オペレーション）

案件名 伊豆自転車競技会場整備工事3（仮設建築物）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<p>本工事は、パラリンピックでも利用される民間の所有施設における仮設オーバーレイ整備工事であり、パラリンピック経費の一部を都が負担する理由がある。また、負担額については平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものである。</p> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <p>なお、延期に伴う追加経費の取り扱いは、現時点で未定である。</p>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約における整備は全てオーバーレイ、仮設等のインフラ整備にあたることから、平成29年5月31日の合意に従い、組織委員会が執行する内容として妥当である。</li> <li>・組織委員会が会場整備や大会運営を担うことになっており、この方針により準備を進めている。</li> <li>・仮設施設・オーバーレイ整備は、実施設計を完了し、引き続き工事を行うものであり、継続性が必要となる。</li> <li>・また、組織委員会はIOCやIF等と協議して整備計画をまとめているため、確実かつ速やかに会場整備を行うために一括して執行することが効率的、効果的である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	<p style="text-align: center;">必 要 性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレハブ、テントなど、大会運営に用いる仮設施設の整備であり、不可欠な事業である。</li> <li>・大規模かつ特殊なイベントであり、借上施設やその備品類では、量的にも質的にも不十分で、本事業により補う必要がある。</li> <li>・本件は大会運営に必要な内容であることを確認している。</li> </ul> <p>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、今回の契約変更は、工事一時中止に向けた安全対策実施及び仮設オーバーレイの大会延期に伴う対応のためであり、現時点で手続きを進める必要がある。</li> </ul>	

	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮施設の規模、仕様、配置は、過去大会の事例を参考に、関係各部門の意見等を調整、反映して設定したとの説明を受けた。</li> <li>・発注図書において、次の数量の整合を確認した。</li> <li>① 競技会場に必要な大会運営のためのプレハブ・テント設置工事等の大会運営に必要な項目が計上されている。</li> <li>② 必要な撤去費、建設副産物処理費、諸経費が計上されている。</li> <li>・積算にあたっては、原則として東京都の積算基準等により、建設資材定期刊行物及び見積もりによる単価に基づき積算されていることを確認した。</li> <li>・また、見積もりによる単価については複数者の見積もりを徴収し、比較検討の上、適切な単価を採用していることが確認できた。</li> <li>・内訳書ではリースと買取りの分けが明記されていない項目については組織委員会へのヒアリングにより確認した。</li> <li>・工程については、提示されたオーバーレイ整備工程を確認した。</li> <li>・調達する資機材等については、要求水準において「持続可能性に配慮した調達コードを遵守する」こととするとともに、可能な限りリースまたはレンタル品を使用していることを確認した。</li> <li>・アクセシビリティについては、オーバーレイ整備のアクセシビリティに関する基本的な考え方を「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」によることを確認した。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算にあたっては、原則として東京都の積算基準等により、建設資材定期刊行物及び見積もりによる単価に基づき積算されている。</li> <li>・また、見積もりによる単価については複数者の見積もりを徴収し、比較検討の上、適切な単価を採用していることが確認できた。</li> <li>・上記のほか、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、内訳書により包括的に確認した。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算や整備内容の妥当性等を図る目的で、上記の項目を中心として、組織委員会からヒアリングを行うとともに、提示された図面、内訳書により適切であることを包括的に確認した。</li> <li>・パラ開催経費を構成するパラ競技会場の施設整備であり、公費負担の対象として適切であることを確認した。</li> <li>・現状の実施設設計での設計内容に基づく本案件については、概ね妥当と判断した。併せて、発注総額が V2 予算内に収まっていることを確認した。</li> <li>(令和2年11月26日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費及び既存経費の設計内容及び金額については、組織委員会へヒアリングを行うとともに、実施設計図面、内訳書により確認しているところであるが、引き続き可能な限りの効率化、精査を図ること。また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱が未定であるため、当面組織委員会の負担とする。</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。